

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田 3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

2020 年 6 月 4 5 4 号

ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/>

イエスのみ心の月にあたって

主任司祭 内藤 聡

4月の聖週間から富士吉田教会のミサ、その他の活動は中止を行っていますが、5月14日に政府が39県の非常事態宣言解除をされました。その後、教会委員会の役員の方々と話し合い、5月24日の主の昇天からミサを再開することにしました。
もちろん、ミサ中においての三密を避けながら、聖堂に入る際にはマスクの着用、アルコール消毒をしていただきます。

そのような状況の中でしばらくミサを続けたいと思いますが、今後富士吉田市内（郡内地域）で感染者が確認されたりしたら再びミサの中止をせざるを得ないかと思っています。
ミサを再開することに色々なご意見や考えもあるかと思っています。しかし、これからはウイルスと共に共存していきながら、少しずつ私たちの生活も戻していく必要があるのではないかと思います。信徒の皆さんの理解と協力をこれからも宜しくお願い致します。

さて、6月はカトリック教会ではイエスのみ心の月とされています。
イエスのみ心は全人類に対する神の愛の象徴としてイエスの心臓を表し、その信心はイエスのみ心に表される神の愛を思い起こし、その無限の愛のしるしであるみ心をたたえるものとして中世に始まりました。
特に聖マルガリタ・マリア・アラコックがみ心の信心についての啓示を受けて17世紀にフランスで広まりました。1675年6月16日、この聖女はご聖体を前にして、イエスの愛にこたえたいという思いに駆られました。そのときイエスは、愛情に燃えているみ心を示して、人々の間に存在する冷淡な心を嘆かれ、イエス自身の愛に倣ってその心を尊ぶことを勧められました。
またこのようなイエスの出現が数回にも及び、ご聖体の祝日(キリストの聖体)後の金曜日をみ心を礼拝する特別な祝日として定めるようにとのお告げにより、み心の信心の内容と形式が明確にされるようになりました。これが、現代の初金の始まりとされています。
そして1856年に教皇ピオ9世によってイエスのみ心の祭日をご聖体の祝日後の金曜日に全世界で祝うことが定められました。ご聖体とみ心の主日がおおよそ6月に祝われるというこのような歴史からして、次第に6月が「イエスのみ心の月」と自然に浸透し、制定されてきたことは十分に考えられます。

教会の活動も少しずつ再開されていきますが、私たちがイエスのみ心の優しさに触れながらイエスの愛にこたえ、福音を告げていくことができるように共に歩んでいきましょう。

今年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大状況の下、例年の光景とは異なるものとなっています。この混乱の中にいる私たちの道しるべとなりますよう教皇フランシスコの「2020 年度復活祭メッセージ」の抜粋を掲載いたします。

『今は、無関心、利己主義、分裂、忘却の時ではない』

今日、全世界に教会の告げ知らせる声が響きます。「イエス・キリストは復活されました！」この善き知らせは、新しい炎のように、夜に灯されました。その夜は、今日すでにある様々な挑戦に加え、わたしたち、人類という大きな家族を試練に立たせる、パンデミックの脅威にあえぐ世界の夜です。復活の主は、十字架につけられた方です。その栄光ある体は消し難い傷を持っています。その傷は希望を通す場所となりました。苦しむ人類の傷を癒してくださいと。

わたしの思いは、特に新型コロナウイルスによって直接の被害を受けた人々、患者の方々、亡くなられた方々、家族を失い悲しむ遺族の方々に向かいます。その中には、亡くなられた家族に最期の別れもできなかった人々もいます。いのちの主が亡くなった方々を御国でご自身に引き寄せ、お年寄りや身寄りのない人をはじめ、試練にある人々に慰めと希望を与えてくださいますように。

高齢者施設で働く人々、特に危険にさらされやすい環境に置かれた人々に、主の慰めと必要な助けが欠けることがありませんように。この復活祭は多くの人々にとって、喪に服すと共に、肉体的苦痛から経済問題に至るまでパンデミックが引き起こした様々な災難に見舞われた、孤独な復活祭となりました。

時には自身の健康までも犠牲にし、あらゆる場所で力の続く限り隣人へのいたわりと愛を証している医師や看護師たちに、力と希望をお与えください。また市民の共存に必要な不可欠なサービスを保証するために絶えず働く人々、また多くの国々で困難と苦しみを和らげるために貢献する人々に、わたしたちの親愛と感謝を込めた思いを向けます。

たくさんの人々の生活が突然変わりました。多くの人にとって、家に留まることは、思索し、生活のあわただしいリズムから抜け出し、親しい人々と共にいる時を味わうための機会となりました。しかし、一方で、多くの人々には、仕事を失うリスクや、この危機の影響がもたらす未来の不確かさに不安を感じる時にもなりました。人々の尊厳ある生活に必要な手段を供給し、この状況が改善した際の日常生活の再開に配慮し、共通善の推進のために熱心に働く、政治責任者たちを励ましたいと思います。

今は無関心でいる時ではありません。全世界が苦しむ中、パンデミックに立ち向かうために一致しなければならないからです。すべての貧しい人々、社会の辺境に生きる人々、難民やホームレスの人々に希望を与えてくださいますように。最も弱い立場にある兄弟姉妹たちを、孤立させてはいけません。特に今、社会で多くの活動が停止している中、彼らに生活のための必需物資や、薬・医療支援などが欠けることがありませんように。

今は分裂している時ではありません。わたしたちの平和である主が、世界各地の紛争における責任者たちに、グローバルな即時停戦へのアピールに応じる勇気を与えてくださいますように。

今は利己主義でいる時ではありません。わたしたちが直面している試練は、皆を結集させ、誰をも区別しないからです。

今は忘れている時ではありません。わたしたちが直面しているこの危機が、多くの人々を苦しめている他の様々な緊急事態を忘れさせることがありませんように。戦争や、干ばつ、飢餓のために、難民や避難者となった多くの人々の心を温めてください。国際社会の支援が可能となりますように。

わたしたちの心と生活を主イエスの勝利に任せない時、これらの態度が優勢に思われるのです。死にうち勝った復活の主が、わたしたちに永遠の救いの道を開き、あわれな人類の闇を払い、終わることのないご自身の栄光の日にわたしたちを導いてくださいますように。

(2020年4月12日「復活の聖なる徹夜祭」バチカン聖ペトロ大聖堂)

教会委員会記録

5月3日(日)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。

お知らせ

★「聖書を読もう!!」が始まります

・火曜日 9日・23日 10時～11時30分

・土曜日 13日・27日 13時30分～15時

持ち物 聖書 眼鏡(必要な方)

集まった方々の話し合いで希望の箇所を選び、読んでみましょう!

どなたでも、ご参加下さい。お待ちしております。

問い合わせ 東海林まで

★「カリタスジャパン 新型コロナウイルス感染症緊急募金」 ご協力お願いいたします!

世界中で猛威を奮っている新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、カリタスジャパンの緊急支援募金が始まりました。

富士吉田教会では、6月末までの期間、主日のミサの折に募金箱を設置し、下記のような国内外の支援にお使いいただきます。(ミサが中止の場合は、財務宛、お問い合わせください。)

1. 住まいの確保: 感染から身を守るための家や衛生環境が整わない路上生活者や難民の方々、自粛規制により住む家を失った方々(ネットカフェ住民など)
2. 食料衣料の確保: 雇止めや解雇、倒産などによる生活困窮者への支援
3. 居場所の確保: DVなどにより安心して過ごす居場所のない方々(子どもたち)
4. 滞日外国人のケア: 外国人労働者、技能実習生、難民申請者、入管被収容者など
5. 優先される方々へのサポート: 高齢者、障がいを持った方々など生活上のサポートが必要な方々
6. 情報の保証: 言語、障がい、独居高齢者、外国人などの理由で情報にアクセスできない方々への情報の提供
7. 医療支援: 医療物資が届かない医療機関への支援、風評被害対策など
(必要に応じて支援対象の範囲を変える可能性あり)

なお直接募金送金をご希望の方は、下記口座にご送金ください。

郵便振替: 00170-5-95979

加入者名: 宗教法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン

*記入欄に「新型コロナ緊急募金」と明記してください。

★ ミサ再開にあたって

聖堂に入堂の際には、マスクの着用と手指の消毒をお願いいたします。しばらくの間は「献金袋を回さない」「奉納を行わない」など、今までとは異なった形になりますが、ご理解ください。

こ よ み



6 月

5 日（金）初金曜日ロザリオ 10:00 ミサ 10:30

7 日（日）三位一体の主日 ミサ 9:30 教会委員会
（聖堂掃除は河口湖・吉田地区）

10 日（水）手芸会 9:30

14 日（日）キリストの聖体 子供と共に捧げるミサ 9:30
（聖堂掃除は日曜学校・河口湖・吉田地区）

19 日（金）イエスのみ心（祭日）

21 日（日）年間第 12 主日 ミサ 9:30
（聖堂掃除はインターナショナル・山中・忍野地区）

24 日（水）洗礼者聖ヨハネの誕生（祭日）

28 日（日）年間第 13 主日 ミサ 9:30 聖ペトロ使徒座への献金
（聖堂掃除は吉田地区）

29 日（月）聖ペトロ聖パウロ使徒（祭日）

イタリア語教室 月曜 10 時 1・8・15・22・29 日（変更の可能性あり）
日曜学校 ミサ後 14・21・28 日

7 月

3 日（金）初金曜日ロザリオ 10:00 ミサ 10:30

聖トマ使徒（祝日）

5 日（日）年間第 14 主日 ミサ 9:30 教会委員会

新型コロナウイルス感染拡大の状況で、変更の可能性あります。

変更の際は、「教会の連絡網」での連絡及びホームページに掲載いたします。

6 月のミサ奉仕

日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第 1 朗読	第 2 朗読	歌伴奏
7	東海林義夫	山本一孝	一雄	福永好雄	宮本禮子	堀内千鶴
14	曾根美香	栗原今朝夫	一雄	相沢千代子		Sr. 西田
21	江守香代子	東海林義夫	正人	大野隆	小松二三子	Sr. 吉平
28	東海林美佐子	山本一孝	一雄	渡辺幹雄	猪俣瞳子	Sr. 西田